

# 3 基本方針



## 3.1 絵になる景観を守り育てる

見晴らしの良い筑後川沿いでは、北側には広大な田園の背後に山並みを遠く望む雄大なパノラマ景観が展開しています。一方、南側には「屏風山」と呼ばれる特徴的な耳納連山を背景に筑後川と田園が織り成す景観を望むことができます。そうした悠然と流れる筑後川や宝満川、広大な田園、背後の山並みとが組み合わさった眺望や、筑後富士と呼ばれる花立山、筑後川下流の川面と夕陽が煌く眺望などの景観は、坂本繁二郎をはじめとした多くの画家達が好んで描いており、代表的な絵になる景観となります。

また青木繁が「月下滞船図」に描いたような、漁港や棚田、果樹園、茶園などで人々が働く姿を映し出している営みの景観も絵になる景観となります。

自然の中にも素晴らしい絵になる景観を見ることができ、滝など自然の景勝地や多様に変化し流れていく筑後川の自然景観が絵になる景観となり

ます。

そうした河川や山並みなどを背景に創り出される眺望景観や、人々の営みが創り出す営みの景観、多様で多彩な自然景観を、「絵になる景観」として後世に継承していきます。



つづらの棚田（うきは市）



花立山（小郡市）

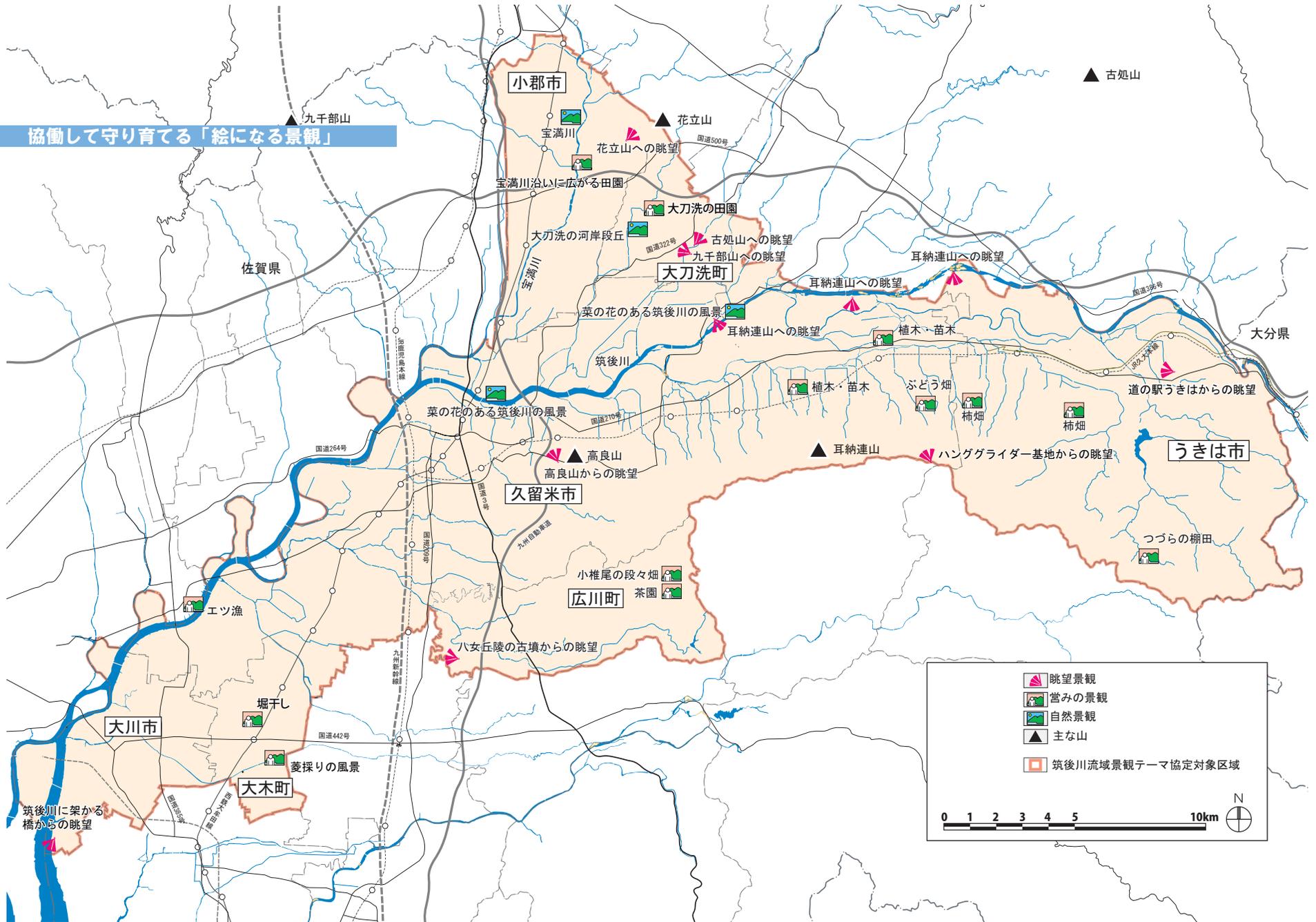


坂本繁二郎「水縄山風景」 石橋財団石橋美術館



青木繁「月下滞船図」 石橋財団石橋美術館

協働して守り育てる「絵になる景観」



	眺望景観
	営みの景観
	自然景観
	主な山
	筑後川流域景観テーマ協定対象区域

0 1 2 3 4 5 10km

N

## 3.2 潤いのある景観を守り育てる

筑後川や宝満川沿いにはレクリエーション施設や温泉街が立地し、多くの人々の憩いの場として親しまれています。小塩川など自然の溪流が特徴的な支流や、疎水が流れる用水路、鎮西湖や十連寺公園周辺の溜池、あるいは下流域の掘割（クリーク）など身近な水辺空間が潤いのある景観を見せてくれます。そうした潤いのある景観を支えてきた川と水辺環境の保全に取り組めます。

市街地においては、久留米市百年公園や大川中央公園などの市街地にある緑豊かな公園が貴重な憩いの場となっていることから、緑の保全に努め、住民が身近なところでも潤いのある景観を形成します。

また、ホタルや野鳥をはじめとする貴重な動植物との共生を図りながら、自然環境に支えられた景観の保全に努めていきます。



田籠のヤマメ釣り（うきは市）



久留米市百年公園（久留米市）



筑後川下流域に生息するカササギ（大木町）



広川上流のホタル（広川町）

協働して守り育てる「潤いのある景観」

